



# YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2019年6月号

## 今後の入試問題の傾向と対策

先日、入試問題分析の説明会に参加してきました。今までもいろいろな勉強会に参加して、受験の変化の傾向に関していろいろと情報収集をしています。が、今回の説明会はとてもしっかりやかったのでシェアしたいと思います。

過去にもYES通信で、大学入試改革の話をし続けてきたわけですが、来年の入試がセンター試験最後の年となり、次回の入試からはいよいよ新しい制度に基づく入試となるのです。具体的にはセンター試験が廃止になり、共通テストという新しいテストの結果をもとに入試改革が行われ、大学入試は就職活動にかなり近い入試になると言われています。共通テストの点数はある程度のランク分けには使われますが、現在のようなテストの点数でほぼほぼ結果が決まってしまうような入試は無くなって、推薦入試やAO入試のように、志望理由書や面接や論文等複合的な判断で可否を決めることになりそうです。そのような中で、共通テストのプレテストが実施委されているのですが、今回は前回の修正も加えられ、次第に傾向が定まってきたのではないかと思います。

今までも皆さん「文章量が増えますよ」というアナウンスしてきたのですが、今回は、問題の内容について良く分析された結果が出ていました。

まず、図1を見ていただくとわかるのですが、

今までの日本史は単純な暗記問題が80%以上を占めていました。日本史や世界史の勉強は、一問一答式の問題集をひたすらやった方も多いのではないかと思いますが、その比率が50%程度になり、知識をあまり必要としない読解の問題が16%程度、そして、読解したうえで知識を試される問題が34%と、単純な知識だけでは解けない問題が増えてきているのです。これは大学入試だけの問題ではなく、これに対応して、福岡県の公立高校の入試問題も同じような傾向が出てきています。図2は福岡県の公立入試問題の理科ですが、以前に比べ知識問題は半分以下で、3分の1に迫るレベルになっています。

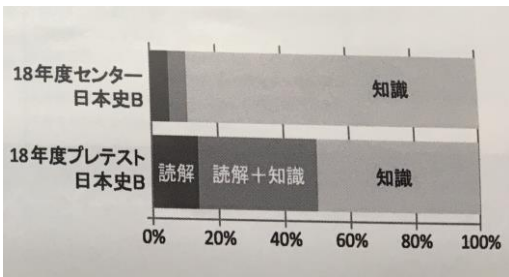


図1

今後もこの傾向は継続すると思われるので、読解力をいかにつけていくのが重要になります。また、これに付随して問題量も増えてきていますのでスピードも重要です。

ただ、読む速さや読解力は受験前に着けようと思っても、なかなかつくものではありません。サッカーの試合の直前になって、持久力や走力を上げようとしてもなかなか上がらないのと同じで、やはり日々のトレーニングが必要になってきます。普段の読書習慣や辞書を引いてわからない言葉を調べたり、聞いたりして語彙を増やす習慣を身につけなければなりません。今、私たちの課題は、英語や数学の授業であっても、その授業の中でいかにして生徒たちに自分達が言葉を知らないのかを認識させること、読書の重要性を伝えることです。私たちが率先してわからない言葉を調べ、また読書をしてその良さを伝えていきたいと考えています。

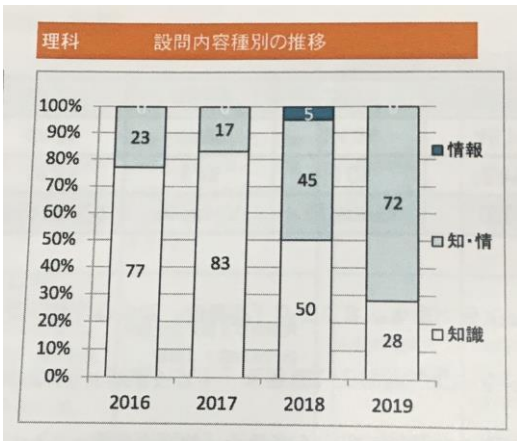


図2

# やる気相談室

## 口内細菌

# 口は災いの元と言います

糖質を制限することで  
集中力が高まったり、老化  
の防止につながったり、が  
んや糖尿病の予防にもな  
ることを教えていただい  
た方に、今回の書籍紹介コ  
ーナーの本を教えてください  
ました。その際に、コ  
コナッツオイルを使うこ  
とで楽に糖質制限ができることも教えてい  
ただきました。

通っても全く治らないばかりか、どんどん  
大きくなって痛くなってきた魚の目が本当  
に治ってきたのです。

それで、イボにも塗りだしたらイボも治  
ってきたのです。あまりの効果に驚きコ  
コナッツオイルのことをもっと知りたいと思  
って調べてみたらこの本に出会いました。

この本では、ココナッツオイルのことも  
書いてあったのですが、それ以上に口を衛  
生的に保つことの大切さが書いてありまし  
た。体内にいろんな細菌が入ってくる源が  
口なのです。その口から入ってくる菌や毒  
素が体に悪い影響を与えているのです。

口の中の細菌は、歯磨きだけではなかな  
か取り除くことはできないのですが、口を  
ココナッツオイルですすべことで、口の中  
の細菌が取り除かれていくのだそうです。

細菌は表面が脂質で出来ているので、水で  
洗ってもはじき合い菌は取れないのです。  
しかし、オイルで口をすすべくと、菌の脂質  
がオイルに吸着され、細菌はオイルの中に  
取り込まれてしまふのです。

起床直後の口の中が、一番細菌が多いの  
で、朝一番にオイルで口の中をすすべこと  
で、どんどん体質が改善していくのだそう  
です。この本は買ったものの他に読みかけ  
の本があったので、先に家内が読んで実践  
したら2キロ痩せたと大喜びしていたの  
で、私も早速試していますが、とても口の中  
がさっぱりして気持ちがいいのと、歯茎  
が締まってくるのを体感できています。

その他にも、歯の詰め物の有害物質や歯  
茎の炎症から、関節炎や肌のトラブルが絶  
えないことも記載されており、改めて口を  
きれいに保つことの重要性を認識させられ  
ました。アメリカでは、歯並びが悪いだけ  
で大きなマイナスだと矯正する人も多いそ  
うです。

口は災いの元とは、言葉だけに限らずい  
ろんな面において重要な言葉ですね！



### 書籍紹介 ケトン体が人類を救う～糖質制限でなぜ健康になるのか 宗田哲男著

糖質制限食を生徒に食べさせることで有名な塾が北九州にあると、紹介していただいた知人に勧められた本です。宗田氏は産婦人科医で、自身は糖尿病で苦しみ、患者さんも妊娠糖尿病で苦しむという体験を、糖質制限により克服できることを体験したのです。また、宗田氏は赤ちゃんや胎児の臍帯血や絨毛のケトン体（体内の脂肪の分解によって生まれる物質）の濃度を多数測定、基準値の20～30倍になることを世界で初めて明らかにした、既存の医学や栄養学と戦う医者なのです。これはヒトが本来、ブドウ糖ではなくケトン体をエネルギー源としていたことを暗示し、ケトン食は今や糖尿病や肥満だけでなく、認知症や癌等にも有効として研究が進んでいる食事法となりました。現代の医学も、以前は大問題になっていたコレステロールが実はそんなに問題ではなかったこと等もあり、もっと多面的に検証する必要があるのではと感じています。この本の内容をすべて肯定できるほどの体験をしているわけではありませんが、一つの選択肢として学ぶべき価値があると感じています。糖質制限はちょっとしたブームになっていますが、ただ真似するのではなく知識として学ぶことも重要だと考えています。特に私のように甘いものには目がない方にはお勧めの本です。糖質を制限すると穏やかな性格になり、集中力も増すという効果もあるそうなので自分でも検証中です!!

ケトン体が人類を救う  
糖質制限でなぜ健康になるのか

宗田哲男

これまでの治療は間違っている!! 世界的発見!  
糖尿病、肥満だけでなく、がん、アルツハイマー病にも有効  
ブドウ糖信仰から目を覚ませ!  
「ケトン生活」の安全性を実証した待望の書